



# コース 1 信長と戦国武将ゆかりのまち

オススメ 戦国武将好きに贈る



- スタート ↓630 m
- ① 奴野城跡 (西方寺) ↓420 m
- ② 不動院 ↓80 m
- ③ 雲居寺 ↓410 m
- ④ 成信坊 ↓210 m
- ⑤ 清正公社 ↓450 m
- ⑥ 津島神社 ↓320 m
- ⑦ 堀田家住宅 ↓170 m
- ⑧ 御旅所 ↓540 m
- ⑨ 妙延寺 ↓260 m
- ⑩ 弘浄寺 ↓620 m
- ゴール 全長約 4110 m

## 戦国武将が寄進した社殿



今の津島からは想像もできないでしょうが、中世後半には津島に川湊があり、伊勢と尾張をつなぐ交通の要衝、尾張最大の商業都市でした。勝幡城を拠点とする織田弾正忠家(信長の家系)は津島を支配下に置き、信長の代になって津島の経済力を背景に尾張国を統一、さらに全国制覇を目指していったのでした。津島衆の中には織田家家臣となる者や戦国武将になる者も現れました。津島のまちなに残る信長や戦国武将たちゆかりの地を訪ねるコースです。

### 1 奴野城跡 (西方寺)

大橋三河守定省の居城があった所です。大橋氏は津島の四家七苗字と呼ばれる土豪の一つです。

### 3 雲居寺

織田信長の家臣服部小平太(一忠)ゆかりの寺です。小平太は桶狭間の合戦で今川義元に一番槍を付ける奮戦を見せました。後に豊臣秀次の家臣として伊勢松坂城主となりましたが、秀次失脚に伴い連座で切腹となりました。

### 5 清正公社

清正公社は加藤清正を祀っています。幼少の清正が住んでいた叔父の家があった場所に明治18年、社が建てられました。

### 7 堀田家住宅

旧堀田理右衛門家。初代之理(ゆきまさ)は福島正則の中小姓として仕えていました。現在の建物は江戸時代中期に創建されたものです。

### 9 妙延寺

清正手習いの寺子屋。清正が叔父の家に住んでいた幼少の頃に読み書き、手習いを習った寺です。境内には清正が双紙を掛けたと伝わる松が昭和初期までありました。

作成：小路めぐりマップ策定部  
 杉村武治 竹島貞男 丹下宏和 加藤三紀夫  
 山岡鉄増 耕井敏子 大橋忠彦 恒川一三  
 岩崎勝明 橋本建夫 水谷亮介 側島清仁

### 2 不動院

織田家の接待所(迎賓館)。宗長手記の大永6(1526)年の項に記載されています。

### 4 成信坊

この寺の住職が反信長一向一揆の指導者、本願寺教如上人の身代わりになったことにより津島御坊の称号が授けられました。

### 6 津島神社

かつては牛頭天王を祀り、津島天王社と呼ばれました。信長が氏神と仰いだ神社で、戦国武将の崇敬も篤く、豊臣秀吉が楼門を、秀頼が南門を、松平忠吉の妻が本殿を寄進しました。

### 8 御旅所

神様がお祭をご覧になる場所。旧天王橋。ここにかかっていた橋の上で信長が天王祭をご覧になられたことが『大祭篋場車記録』に書かれています。

### 10 弘浄寺

長島一向一揆の際、信長が布陣した場所と伝えられています。『信長公記』など信長にまつわる史料にも、長島一向一揆との戦いで津島に陣を敷いたと書かれています。